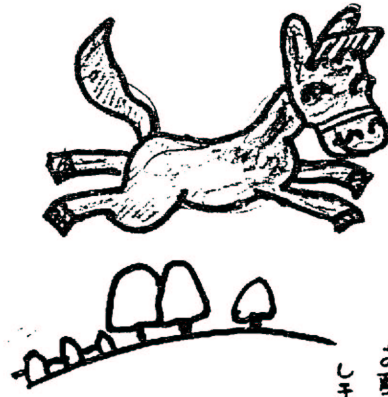




# バングラデシュの子どもたちと手紙の交流と



「手をつなぐ会」が発足して3ヶ月、たくさんのかたのご協力で30万も接収金が寄せられました。さしあたり大学生ひとり中学生・高校生10人あまりが「シロン基金」で勉強を続けられるでしょう。接収金もそろったほど、一学期に一回バングラデシュへ行って、何を勉強していいかわからない。何を勉強していいかわからない。何を勉強していいかわからない。何を勉強していいかわからない。

## ぜったいに食べないでね 空里からのこのプレゼント

「教育を語る会」のあとバングラデシュの話を長野先生から聞いた。6年2組の子どもたちはノート、筆入れ、布の袋、小刀、くわ、洋服などを持った先生とらっしゃい。手をつなぐ会にきてくれました。あとで全部出してみたら、おはじきがいっぱい。はらって、ぜったいに食べないでね」とかいいた。おねがひはつきました。

### おねがひ

ノートやペン、ボールペンや衣類は向うへ送ると送料や税金がたかひにかかるといふことが多々あります。たのびく日本のパッケージで元来ものがあつたら、ここに下書き

## たくさんの方のご協力

**福岡トヨペット活動組合**では毎年社会のためのアジアのため組合員みんなで活動し、奉じてまわったかたへお返しします。こころは「バングラデシュと手をつなぐ会」に31万頂きました。

**福岡市幼生生活園**  
前年の年にひきつづき4才から6才の子どもたちがクリスマス献金の中から4万円をバングラデシュの子どもたちのために寄付して下さりました。

**ベテスタ姉妹会・若尾塾児童園**、**カタリナ聖基金**など、**東京練馬区大泉のベテスタ姉妹会**（おまかせの人のためだ佛キリスト教のケルトン）と若尾塾児童園が4万6千円、**文庫書庫**でなくられたカタリナ聖を記念した基金から5万円、いたいただきました。

### バングラデシュの 話とまごころ

## 教育を語る会

早良市民センター

12月2日午後2時から高取小学校・高取中学校・空里小学校のお母さんたちと先生がたかひく人集まって早良市民センターで「教育を語る会」がありました。まずバングラデシュに小学校をつくる会、のスタンプをうつしてからわたしバングラデシュの子どもたちがゆたかな自然と村の共同体や大家族に育ちながら、いかに育っているようすや村の人たちの教育への情熱、アジアの開発途上国の苦難、わたし個人

## ゼミペンフレンドに

分科会の中で高取中学校の英語の先生が「バングラデシュの中学生と英語の手紙を交わす」機会がなければゼミの生徒たちも参加させてほしい」と発言されました。はやくゼミフレンドが交流できるようにしたいです。(大木)

## 春を求めて 山に行きませんか!!

場所 雷山の東側(佐賀県側)  
吉場岳の近く

清流の清水で飯盒炊爨。  
お菜は各自持参。米一合。  
その他 即席の味噌汁、コーヒー、茶。  
ツクシ、ワラビ、フキ、ウド、タラの芽、  
クレスン(オレンジカラシ) 散葉かぼち

※ハイキングの準備

期日 3月24日(予定)

参加する人は 821-3404 (山本)

